

図画工作

(9) 図画工作

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	<p>(1) 造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図るなど、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた工夫。</p> <p>(2) 互いの活動や作品を見合いながら、感じたことや思ったこと、考えたことなどを、伝え合ったり、話したりするなどの言語活動の育成を図るための工夫。</p> <p>(3) 情報手段を活用した学習活動の充実を図るための工夫。</p> <p>(4) 題材などの内容や時間のまとまりの中で、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて学習の見通しを立てたり、学習を振り返ったりするための工夫。</p> <p>(5) 児童や学校の実態に応じて、地域の身近なものや、伝統的なものを取り入れ、家庭や地域社会、地域の美術館などとの連携やその利用及び活用を図るための工夫。</p> <p>(6) 児童の主体性や興味・関心を引き出すための工夫。</p> <p>(7) 他教科や中学校等との関連を図った学習活動を充実するための工夫。</p>
2 使用上の便宜	<p>(1) 内容の配列、分量について</p> <p>(2) 教材、資料等の分量</p> <p>(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集の工夫等</p>
3 その他	<ul style="list-style-type: none">・就学前教育や中学校との接続への配慮・安全指導の充実

1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
<p>9 開隆堂</p>	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の活動場面の写真を掲載して、児童が発想や構想を深めながら造形的な活動に主体的に取り組めるよう工夫されている。 〔例〕 1・2年上(P12~13) ・他の児童と気持ちを伝え合いながら、造形的な活動に取り組む題材が設定されている。また、対話を通して協力する活動を通して、身の回りの活動に主体的に参画することにつながるよう工夫されている。 〔例〕 3・4年下(P2~3)、5・6年上(P2~3) ・「学習のめあて」で、育てたい3つの資質・能力を明示するとともに、重点的に育成を図りたい資質・能力が強調して示されている。 〔例〕 1・2年上(P4) <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力したり、言葉をかけ合ったりしながら1つの作品を作り、お互いの作品について思ったことを話し合ったりする様子が、写真と吹き出しで示されている。 〔例〕 1・2年上(P12~13) ・鑑賞の題材では、発表や話を聞く様子を具体的に示し、児童の言語活動が図られるよう工夫されている。 〔例〕 1・2年上(P10~11) <p>●着眼点(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作の見通しや、作り方の参考になる「タブレットたんまつで見てみよう」にアクセスできる二次元コードが配置されている。 〔例〕 1・2年上(P30) ・巻末の「タブレットたんまつを使おう」において、「あつめる」「しらべる」「あらわす」「みる」「ほぞんする」といった造形活動での主な使用方法を挙げて、活動と結び付けながら解説されている。 〔例〕 1・2年上(P63) 	<p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次の横に年間に扱う中心的題材や活動に取り組んでいる様子が紹介され、児童が学習の見通しを持つことができるよう配慮されている。 〔例〕 1・2年上(P6~7) ・キャラクターを用いて、育成をめざす資質・能力の3つの柱に対応した「学習のめあて」が全ての題材で示されている。 〔例〕 1・2年上(P4) ・題材の最後に、学習のめあてに対応した「ふりかえり」が簡易な言葉で示され、自己評価を行いやすいよう工夫されている。 〔例〕 1・2年上(P11) <p>●着眼点(5)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地の美術館や地域社会での取組を「みんなのギャラリー」として取り上げ、児童が自分たちの住む地域に目を向け、児童や学校の実態に応じて活動できるよう配慮されている。 〔例〕 5・6年上(P56~57) ・「小さな美術館」では、児童にとって身近な自然や造形物、日本や世界の美術作品が取り上げられている。 〔例〕 5・6年上(P46~47) <p>●着眼点(6)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味を持ちやすいような題名にしたり、分かりやすい言葉で説明したりして、児童の関心が高まるよう工夫されている。 〔例〕 3・4年下(P14~15) <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材で「あわせて学ぼう」として教科名とともに具体的な活動を想起させる文章を示し、教科横断的な学習の手だてとなるよう工夫されている。 〔例〕 3・4年上(P9) ・「未来へつながる図画工作」で中学校の様子や職業と関連した内容等を取り上げ、勤労を通して主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるよう工夫されている。 〔例〕 5・6年下(P66~69)

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
116 日文	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動場面の写真や話し合いの様子を造形的な視点で示し、発想や構想の深まりのヒントにできるよう工夫されている。 〔例〕 5・6年上(P38～39) ・「教科書美術館」のページでは、鑑賞作品とそれに関する題材を連続で配置し、身の回りのものから美術作品まで、幅広い造形作品に出会わせることで児童の想像が広がるよう工夫されている。 〔例〕 1・2年下(P44～45) ・活動の場面ごとに、学習をサポートする4つの投げかけをし、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 〔例〕 1・2年下(P30～31) <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動中の対話の様子を写真や吹き出しで示し、児童が他の児童や指導者との対話を通して、言語能力の育成が図られるよう工夫されている。 〔例〕 1・2年上(P26～27) ・巻末の「アート・カードを楽しもう」や、「友だちの(と)作品を見て話そう」など、様々な対話を生かした鑑賞方法を紹介し、児童の対話活動のヒントになるよう工夫されている。 〔例〕 5・6年上(P58～59、P68) <p>●着眼点(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末の活用方法をマークで例示するとともに、「ICTの活用」のページで、具体的な活用例や情報モラルが紹介されている。 〔例〕 3・4年上(P43、P63) ・用具の使い方動画、作品ギャラリー、360度鑑賞作品、作家インタビュー、アプリなど、デジタルコンテンツを活用できるよう、二次元コードが配置されている。 〔例〕 1・2年上(P9) 	<p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次の横に「教科書の使い方」「学習の進め方」のページが設定され、児童が活動の流れをイメージし、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 〔例〕 3・4年下(P3～4) ・児童に分かりやすいように、全ての題材において育成をめざす3つの柱に対応した「学習のめあて」が特徴的なマークで示されている。 〔例〕 1・2年下(P8) ・題材の最後に、活動を終えてどのような学びや気づきがあったのか、学習を振り返るための投げかけが示されている。 〔例〕 1・2年下(P9) <p>●着眼点(5)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広がる図工」では、地域で協力して作品を展示する様子、地域社会と協働した活動例、地域の美術館など、様々な事例が掲載されている。 〔例〕 5・6年上(P36～37) ・「教科書美術館」では、伝統文化や他国の作品等多様な作品が掲載されている。 〔例〕 5・6年上(P22～23) <p>●着眼点(6)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子を撮影した写真を多く用い、児童がその活動に興味・関心をもてるように工夫されている。 〔例〕 3・4年上(P14～15) <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材ページや特設ページに「つながる学び」を示し、関連する他教科等の学習内容と結びつけられている。 〔例〕 3・4年上(P49) ・中学校生活やそれ以降の生活につながるよう、中学校での活動の様子写真を取り上げ、図画工作で学んだことを今後の生活に生かすことができるよう工夫されている。 〔例〕 5・6年下(P66～67)

2 使用上の便宜

項目 発行者の 番号・略称	総 ページ	(1)内容別配当の分量							(2)教材・資料等の分量						
		A表現		B鑑賞		その他			総 題材 数 (点数)	児 童 作 品 (点 数)	児 童 の 活 動 場 面 の 写 真 (点 数)	資 料 (点 数)	発 想 や 構 想 の ヒ ント ・ 手 立 て (提 示 箇 所)	三 重 県 に 関 わ る 記 述 (箇 所)	
		造 形 遊 び	絵 や 立 体 ・ 工 作	鑑 賞	用 具 ・ 材 料 の 扱 い	造 形 活 動 へ の 導 入	そ の 他								
9 開隆堂	1・2年上	65	8	40	6	6	4	1	27	221	24	127	4	323	0
	1・2年下	65	8	40	6	6	4	1	27	169	4	177	4	362	0
	3・4年上	65	6	42	6	6	4	1	27	127	13	118	8	322	0
	3・4年下	65	6	40	8	6	4	1	27	138	15	119	10	298	0
	5・6年上	65	4	38	12	6	4	1	26	92	19	126	8	316	0
	5・6年下	69	4	38	12	6	4	1	26	91	27	95	11	314	0
116 日文	1・2年上	69	6	35	11	9	7	1	30	214	8	166	5	255	0
	1・2年下	65	7	33	10	9	4	2	29	159	8	191	7	298	0
	3・4年上	65	6	29	12	11	6	1	29	111	8	174	7	313	0
	3・4年下	65	6	29	16	9	3	2	28	122	32	155	5	278	0
	5・6年上	71	4	35	17	9	3	3	29	114	52	93	6	331	0
	5・6年下	69	6	34	13	9	4	3	29	136	43	101	5	305	0

(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童への配慮、編集上の工夫等

9 開隆堂	<p>○A4版。ミシン穴のないアジロ綴じ、見返し付きで表紙が加工され、開いたときの使いやすさと長期間の使用に耐えるよう製本されている。</p> <p>○言葉のまとまりごとに改行位置を工夫する、図版や写真などが重なる場合には区切りをつける等、インクルーシブ教育の観点で配慮されている。また、学年配当漢字に総ルビや各図版に図版番号を付すよう工夫されている。</p> <p>○人体への影響が少ない植物性インキで印刷したり、写真等の鮮明度を保ちつつ、表紙、本文ともに環境に配慮した紙を使用したりするよう配慮されている。</p>
116 日文	<p>○A4判。無線綴じで紙がばらばらにならず、強度がある製本になるよう配慮されている。巻頭、巻末に見返しを付けることで耐久性が増すよう工夫されている。</p> <p>○誰もが学びやすいようにカラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。また、ユニバーサルフォントが使用されている。</p> <p>○人体への影響が少ない植物性インキで印刷したり、表紙は耐久性のあるコーティングを施し、丈夫で水濡れにも耐久性を保てるようにしたりするよう配慮されている。</p>

3 その他

発行者の 番号・略称	今日的課題への配慮 (SDGsの視点、安全・防災への配慮)
9 開隆堂	<p>○用具の扱い方を動画で見ることができる「用具や材料を知ろう」のページが巻末に設定され、二次元コードが配置されている。また、必要な箇所に「安全」マークをつけて、用具等を安全に使うことができるよう工夫されている。</p> <p>○後片付けについて、配慮すべき点をマークとともに写真やイラストを用いて具体的に説明することで、後片付けも事故防止等に向けて大切な学習活動であることを意識できるように工夫されている。</p> <p>○「つながる造形」で国際交流や福祉に関わる内容を取り上げたり、各学年で海外の児童作品を取り上げたりするなど、多文化共生に配慮するよう工夫されている。</p>
116 日文	<p>○用具の扱い方を動画で見ることができる「材料と用具のひきだし」のページが巻末に設定され、二次元コードが配置されている。また、用具の基本的な扱い方をイラストや写真で示されている。さらに、安全指導についてはポイントを示すとともに○、×で分かりやすいように工夫されている。</p> <p>○後片付けについて、方法を写真やイラストを用いて具体的に説明していることや、余った材料を他の活動で再利用するよう促すことで事故防止や環境教育等へ意識させるよう工夫されている。</p> <p>○環境、多文化共生、平和・人権等に関わる題材や事例を取り上げたり、SDGsの考え方を関連づけたりすることで、児童が現代的な諸課題と図画工作科との関わりを通して考えを深められるよう工夫されている。</p>